

## 寄せられた意見

No. 173

受付日	H18. 10. 16	年齢	34歳	居住 市町村名	旭川市
件名	天塩川の治水要望				
<p>平成18年10月8日、旭川からスーパー宗谷1号に乗って稚内へ向かおうとしたが、天塩川及び名寄川の水位が危険水位に達したため、名寄でバス代行となった。旅程が不可能になり、やむを得ず旭川に引き返した。</p> <p>同10月9日に再び旭川から同列車に乗り稚内に旅行したが、雄信内付近で天塩川増水危険のため徐行運転していた。</p> <p>実際に乗ってみて、私見ではあるが、名寄一幌延間の宗谷本線には天塩川と接している箇所が多く、土木工学的に危険な箇所が多いと思われる。宗谷本線に天塩川の水が迫っている場所が多かった。</p> <p>しかしながら宗谷本線（北線）を大規模に改修するのは交通需要から予想しても不可能に近く、このまま、河川の氾濫が続き、さらに大規模な洪水などにより土砂災害が発生すればいずれは宗谷本線に大規模な被害をもたらし、宗谷本線の存続自体が危ぶまれるのではないかと危惧するものである。JRではないが、洪水により九州の高千穂鉄道が休止に追い込まれている。</p> <p>従って、地域交通の確保の観点から言っても天塩川水系の流量のコントロールが必要であり、サンルダムを含めた天塩川治水整備が流域のみならず道北・北海道全体のために必要だと思われます。</p> <p>旭川市 [黒塗り] 34歳 理由・道北の交通体系維持のため。</p>					

※ [黒塗り] 箇所は、個人情報等に該当するため黒塗りしています